年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（３学年用） 教科　芸術　科目 美術基礎

教　科：芸術　　科　目：美術基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

使用教科書：（ 高校生の美術１ ）

教科　芸術　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○ 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。

【思考力、判断力、表現力等】○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

科目　美術基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○ 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	【知識及び技能に関する目標】 鉛筆デッサンの基本的な知識・技術を身につけ、対象を見る人に伝わるように絵に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】構図や質感の表現を工夫し、魅力的な絵作りができる。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 主体的に粘り強く制作に取り組む姿勢を身につける。	○鉛筆デッサン	○			○	「知」鉛筆を効果的に使用し、形体を適切に捉え、質感表現を工夫して作品を完成させることができる。 「思」構図や光、空間の表現に留意し、魅力ある作品に表現することができる。 「態」絵画制作における創造的な諸活動に、粘り強く主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	【知識及び技能に関する目標】 色彩と絵の具の基本的な知識・技術を身につけ、適切に使用して平面構成をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】混色や絵具の塗り方を創意工夫し、魅力的な作品作りができている。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 よりよい作品になることを目指して主体的に粘り強く制作に取り組む姿勢を身につける。	○平面構成		○		○	「知」色彩についての知識をもとに、絵具を適切に使用して、作品を完成させることができている。 「思」主題に合った表現方法を工夫し、見る人に意図が伝わる作品を制作することができている。 「態」よりよい作品にするために主体的に粘り強く制作に取り組もうとしている。	○	○	○	4
2学期	【知識及び技能に関する目標】 立体制作の基本的な知識や技術を身につけ、道具を適切に使用して作品を完成させることができる。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】量感や質感を工夫し、自分の発想した内容を形に表すことができる。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 粘り強く制作に取り組み、自分の発想、構想を形に表すことができる。	○立体構成	○			○	「知」必要な画材・道具を適切に使用して、作品を完成させることができている。 「思」量感や質感を工夫し、自分の発想した内容を形に表すことができている。 「態」よりよい作品にするために主体的に粘り強く制作に取り組もうとしている。	○	○	○	26
3学期	【知識及び技能に関する目標】 これまでに学んだ知識・技術を活用し、画材の特性を生かして作品制作をすることができている。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】自分の表現について深く考え、それに合った表現方法を創意工夫し、魅力的な作品作りができている。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 オリジナリティのある発想、構想を形にするために、主体的に粘り強く制作に取り組むことができる。	○自由制作	○	○	○	○	「知」自分で表現したいものをイメージし、それに合わせた必要な画材・道具を適切に使用し、確かな技術で創造的に表している。 「思」主題に合った表現方法を工夫し、見る人に意図が伝わる作品を制作することができている。 「態」オリジナリティのある作品を構想し、粘り強く完成させることができている。	○	○	○	20
											合計
											70